

要予約 無料法律相談

11月25日(水)10時～11時半
●担当/山口第一法律事務所
田中 礼司 弁護士
12月16日(水)14時～15時半
●担当/山口第一法律事務所
横山 詩土 弁護士
●場所
生協ふれあい会館2階「相談室」
☎0836-34-2510



健康をつくる 平和をつくる いのち輝く社会をつくる

●発行 医療生活協同組合健文会
●発行責任者 専務理事 山村 義晴

医療生協健文会現勢 2026年9月30日現在

- 組合員…………… 18,902人
- 出資金額………… 593,502,000円
- 平均出資金額………… 31,399円
- 支部数…………… 23支部
- 登録班数…………… 164班

〒755-0005 宇部市五十目山町16-23
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651
https://www.kenbunkai-yamaguchi.jp

定款地域(活動する地域)…山口県全域

“みんなが笑顔になれた、生協の魅力を地域へひろげた”

健康まつり 2026

来場者
2,500人



福引 未引き換え賞品のお知らせ

当日、引き換えのなかった賞品の
当選番号をお知らせします。

- お米2kg 4310 4654
- サーティワン商品券 1615
- フジグラン商品券 下2桁「12」

引き換えは2026年12月末まで！
当選された方は、抽選券の半券を持って
各事業所へお越しください。
※参加協力券をお持ちの方には参加賞
もあります。

2026年10月4日(日)、宇部市恩田スポーツパークで「健文会健康まつり2026」を開催し、2,500人が参加しました。生協強化月間・前半の一大イベントに位置づけ、みんなが笑顔になれる一日にしようをスローガンにしました。

地域組合員・職員組合員・地域の団体と日頃のつながりを活かし、協同の力で医療生協の魅力を発揮しました。当日はときおり小雨も交じる生憎の天候でしたが、医療生協の専門職による健康チェックブース・支部と事業所が共同販売する模擬店、平和環境問題・事業所活動の紹介コーナーやスタンパラー、介護事業部ONE・Teamによる寸劇。最後は生活応援「福引大抽選会」や「もちまき」といった参加型の多彩なイベントが目白押しでした。

健文会組合員をはじめ、地域からも子育て世代や学生、シニア層までの多世代が幅広く参加した秋の健康まつり。会場内では久しぶりに対面での再会を喜ぶ姿、学生ボランティアの若くフレッシュな力も漲みなぎり、みんな明るく、笑顔になれる1日となりました。皆様のご協力、本当にありがとうございました！



インフルエンザ・新型コロナ 予防接種のご案内



インフルエンザおよび新型コロナウイルスの予防接種が始まっています。どちらのワクチンも重症化予防に有効とされています。特に高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、早めの接種をご検討ください。

詳細については各市町ホームページまたは最寄りの健文会の事業所のホームページ(宇部協立病院、生協上宇部クリニック、生協小野田診療所)でご確認・お問い合わせください。



年齢	公費負担		料金(税込) (インフルエンザ)	料金(税込) (コロナワクチン)
64才以下	なし	医療生協加入者	¥2,800	¥15,400
		医療生協未加入者	¥3,800	¥17,600
65才以上(宇部市)	あり		¥1,490	¥4,680
生活保護世帯		インフルエンザ:64才以下…組合員¥2,800、未組合員¥3,800 新型コロナウイルス:64才以下…組合員¥15,400、未組合員¥17,600 65才以上…無料		

※64歳以下の方は当法人内の価格設定となっております。他の医療機関と価格が異なる場合がございます。
※65歳以上の方は市町村によって金額が異なる場合がございます。

医療生協健文会 理念

私たちは健康で安心して
住み続けられるまちづくりをすすめる
医療・福祉の生活協同組合です

基本指針

理念を実現するために、地域組合員と職員組合員が
ともに力を合わせ、以下のことに取り組みます

- 1 人や社会とのつながりを大切にし、地域まるごと健康づくりをすすめます
- 2 だれもが健康で安心してくらすために、社会保障、平和、地球環境などの課題に総合的に取り組みます
- 3 「事業」の質の向上や発展のために、学びを深め、地域の協同をひろげ、健全な運営をおこないます

熊本地震報告



2026年9月7日～9月9日まで熊本県八代郡氷川町にある避難所で、高齢者21名の支援を実施してきました。避難されている方々から、「前回の地震でもやられて、今回で完全にダメになって帰る家もない。」との声も聴かれ、長期間を要する復興を国や私達がどのように支えていくのか、深く考えさせられる熊本支援となりました。

（在宅介護福祉事業部 事務局 佐々木 理恵）



初めて避難所に行き、白い布で仕切られた空間に戸惑いました。シャワー浴介助、足湯を主に行い、元気そうに話されていても、家が全壊されている方もあり、こころの支援（ケア）がかなり大切だと感じました。避難所内では、不自由な生活の中でも、私たちを気遣ってくださる言葉に大きな優しさを感じました。

（グループホームかいなん 施設長 國森 敦子）



共同組織活動交流集会



9月27日・28日、「第17回全日本民医連共同組織活動交流集会 in 東京」が東京ビックサイトにおいて開催され、健文会より3名と全国連絡員1名が参加しました。



1日目は、「そもそもの憲法って何？ーふつうの生活を守るために知っておきたいことー」と題して太田啓子さん（弁護士）による記念講演と熊本・神奈川・東京から3つの指定演題発表がありました。

2日目は、分科会。7つのテーマで24会場に分かれて演題発表と質疑・交流が行われ、健文会からの参加者もそれぞれの分科会に参加しました。今回の活動の交流と学び合いで、全国からの発言に勇気づけられ、地域の力・共同の力をさらに発揮できるような活動のヒントや知恵を得ることができました。（理事 岡村 昌平）

生協の魅力を地域へ

生協強化月間



みんなが“地域まると健康づくり”の主人公

9月19日、宇部市男女参画センターフォー・ユーにて生協学校を開催。地域組合員と職員組合員80人が参加しました。医療・介護・福祉の事業所だけでなく、支部や班、組合員同士のつながりが、地域の「安心のネットワーク」になっていることを確認。医療福祉生協の魅力は「組合員価格が安い」だけではなく、組合員自身が“地域まると健康づくり”の主人公として参画できること。地域組合員が知っている地域の願いやつながりと、職員組合員が持つ医療・介護・福祉の専門性を持ち寄り、いろいろな取り組みにチャレンジしようと話し合いました。



「せーの行動週間」にあわせて、生協強化月間スタート集会



9月24日、「せーの行動週間」にあわせ、「第1・第2ブロック（宇部地域・山口・防府）生協強化月間スタート集会」を病院・多目的室で開催。12支部の支部代表・理事と、4事業所（宇部協立病院・生協上宇部クリニック・協立歯科・介護事業部）の事務長・職場代表など30人が参加しました。月間中に計画している企画や意気込みが次々と報告され、「他支部の経験から学ぶことが多く刺激を受けた」「事業所の仲間ふやしのがんばりが伝わってきた。事業所で加入された組合員を地域活動にお誘いしたい」などの感想が。月間に向けて元気の出る集会でした。



山口支部 自分らしく豊かに生きるため、元気なうちから話し合おう

9月25日、山口市事務所で2回目の「人生会議」を開催し、地域組合員や医師など10名が参加しました。『わたしのノート』を使い、病気の告知や延命治療、最期を迎える場所などについて医師の視点を学ぶとともに、人生の終末期を自分らしく迎えるための思いを語り合う貴重な機会となりました。



医師の視点を学ぶとともに、人生の終末期を自分らしく迎えるための思いを語り合う貴重な機会となりました。

地域フラッシュ

小羽山支部 月間行動

9月25日、小羽山支部の4名で訪問行動を行いました。当日は、組合員から紹介していただいた方や、新規組合員など、10件を訪問し、そのうち4件が手配りに変更になりました。訪問を通じて、地域の方々とのつながりを深めることができました。これからも訪問活動を続けていきます。



有償ボランティア事業「ここって」の支援員・利用者を募集しています。

連絡先

まちづくり組合員活動支援部
☎ 0836-34-2510

経済的なご事情などで医療費のお支払いにお困りの方、「無料・低額診療事業」のご相談を受け付けています。

介護事業所
DIARY

リハビリデイサービスたんぽぽ

8月 夏祭りを行いました

今年の目玉はおやつ釣り。
なかなか釣れないお菓子を前に大盛り
上がりでした。



チョコバナナ、かき氷、ポップコーンから
食べたいものを
選んでもらいます。
一番人気はかき氷。



職員が浴衣を持参し、
今年も利用者さんが
着付けをしてくれました。



山口東京理科大(山陽
小野田市)の学生さんも
炭坑節に初挑戦。利用者
さん、職員と一緒に踊り
ました!!



見学・体験は常時受け付けております。
お気軽にお問い合わせください。

TEL 0836-38-5775



理事会だより

第4回定例理事会は、9月26日(土)
14:00~17:00で開催し、議長より成立
していることが宣言された。

■法人運営・承認・決裁事項

- ・協立在宅介護総合センターリニューアル検討委員会(仮称)のメンバー構成を確認した。11月頃を目途に第1回検討委員会を開催する。
- ・10月1日から改正労働施策総合推進法にて「カスタマーハラスメント」対策が義務化されることにともない、健文会として基本指針を定める事を確認した。
- ・看護補助者の推進役として「看護補

助統括リーダー」を新設する。業務手
順や管理体制を一元化することを目的とする。あわせて病院の組織図を変更する。

- ・医療機関DX化における国の補助金申請(約5,700万円)の認可が下りたことを受け、今年度中に宇部協立病院の業務効率化に伴うDX化をおこなうことを決定した(費用約7,117万円)。

■報告事項

【経営報告】

- ・8月度の経常利益は+1,133万円の黒字(予算+1,018万円、前年+1,304万円)となり、今年度はじめて予算・前年を超過達成した。5か月累計(4~8月)で+3,905万円の黒字(予算△3万円、前年△64万円)となった。



シリーズ憲法③

もう1回も戦争が起きませんように



「政府自民党の改憲案の恐ろしい狙い」

政府自民党の改憲案には、「前条(9条)の規定は、自衛隊が自衛のためにとる措置を妨げず」「自衛隊を保持する」と狙いがあからさまに書かれています。

自衛隊の行動すべてを合憲にすること、その自衛隊を持つことを憲法に明記し定める

ことです。改憲案が成立すると9条の2が新しい憲法になり、今の9条が効力を失います。(法律の世界では、新しく書かれた規定が優先するからです。)

何の制限も受けない自衛隊(という名の軍隊)が、憲法で認められるのです。もう、アメリカが始める戦争への参戦は断れません。必ず戦争に巻き込まれます。戦争憲法の制定で新しい戦前が始まり、暗黒政治が復活します。そんな日本にしていのでしょうか。「憲法を変えるな」の声をあげ行動する「時」は、今です。

高千帆支部 支部長 浅田 旭弘



第71回 日本母親大会に参加して



第71回母親大会が9月12、13日に宮城県仙台市で開催され初めて参加しました。全国からWebを含め8000名以上が参加しました。各団体から、平和や暮らし、健康を守るため様々な運動が紹介されました。

仙台市では核兵器廃絶を願う市民行進が44年間続けられており、山口県からは岩国基地問題など戦争と平和についての取り組みが紹介されました。また、熊本地震から10年を迎え、昨年の大雨災害では母親大会が地域を超えて人々を支え、活動をつないでいることに素晴らしさを感じました。今回の参加を通して自分たちに何ができるのかを考え、できることから行動していきたいと思います。

虹の訪問看護ステーション山陽小野田 落合千賀子

「健康のひろば」手配り協力者大募集

生協組合員の力で、機関紙活動を豊かにしましょう!

健文会の機関紙「健康のひろば」は毎月1回発行していますが、手配りでお届けできているのは組合員全体の42%です(残りは年4回郵送)。機関紙の配達を通じて日頃から組合員同士、声掛けや見守りのできるゆるやかな関係性を広げましょう。ご近所まわり2~3軒の配布で十分です。月末に機関紙をお届けしますので、「月1回ご都合のよい時間」に「ちょこっとボランティア」お願いできませんか?

■憲法 25条(生存権) 9条(平和主義) 13条(幸福追求権) が生きる社会の実現をめざします。

